

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-177059

(P2011-177059A)

(43) 公開日 平成23年9月15日(2011.9.15)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 2 1 D 2/26 (2006.01)	A 2 1 D 2/26	4 B 0 2 4
C 1 2 N 15/09 (2006.01)	C 1 2 N 15/00 Z N A A	4 B 0 3 2
A 2 1 D 13/00 (2006.01)	A 2 1 D 13/00	4 B 0 5 0
A 2 1 D 2/30 (2006.01)	A 2 1 D 2/30	
C 1 2 N 9/02 (2006.01)	C 1 2 N 9/02	
審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 14 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号 特願2010-42526 (P2010-42526)
 (22) 出願日 平成22年2月26日 (2010.2.26)

(71) 出願人 598096991
 学校法人東京農業大学
 東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号
 (74) 代理人 100122574
 弁理士 吉永 貴大
 (72) 発明者 高野 克己
 東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京
 農業大学内
 (72) 発明者 野口 智弘
 東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京
 農業大学内
 Fターム(参考) 4B024 AA05 BA07 BA08 CA04 CA07
 DA06 EA04 FA02 GA11 HA03
 4B032 DB02 DG02 DK24 DK51 DL20
 4B050 CC03 CC05 DD09 LL02

(54) 【発明の名称】小麦加工製品の改質剤及び小麦加工製品の製造方法

(57) 【要約】

【課題】遺伝子情報よりリコンビナントEro1を取得し、Ero1によるPDIの再生がもたらすグルテン形成ならびに製パン性向上作用を応用した小麦加工製品の製造技術を提供することを目的とする。

【解決手段】配列番号：1で表わされる塩基配列からなるポリヌクレオチドで形質転換した形質転換細胞から産生されたりコンビナントエンドプラズミックレティキュラムオキシドレダクターゼ1 (rEro1) と、プロテインジスルフィドイソメラーゼ (PDI) と、フラビンアデニンジヌクレオチド (FAD) と、を主成分とする、小麦加工製品の改質剤。

【選択図】図1

